

ひろば大代

NO.289

大代公民館

H15.8.23

祝敬老の日

多年に亘り社会に貢献された高齢者の方々に對し、国民こぞって感謝の意を表し長寿をお祝いする日です。

大代町では9月15日(月)午前10時30分から大代小学校体育館にて75歳以上177名の方々を対象に敬老会を開催致します。

町民の皆さん、ご協力の程よろしく
お願いいたします。

計	女	男	
92	60	32	75歳~ 79歳代
72	47	25	80歳代
12	6	6	90歳代
1	1	0	100歳以上
177	114	63	合計

◎米寿の祝(88歳) 4名

佐藤茂里枝 下市
竹島晴義 四日市
山下良徳 川上
武田キヨコ 山田

◎喜寿の祝(77歳) 18名

岡平 上市
熊谷真智枝 下市
原田照子 下市
田辺孝 下市
岡田勝三 植松
荒本恵宗 四日市
中島正美 八反田
長谷幸夫 八反田
榎原建作 椿
山口富士枝 椿
松井ユエ 本郷
原田一徳 山田
渡重子 山田
泉ミサ子 上飯谷
畑幸代 上飯谷
原田政明 上飯谷
坂本カヲル 下飯谷
中垣土夫 右原
横田正子 上市

◎新会員紹介

(74歳、75歳) 20名

おめでとうございます

お身体を大切にいつまでも益々お元気で

渡利愛子 上市
鈿昭人 四日市
中垣キミヨ 四日市
榎原美恵子 椿
花田辰行 椿
渡辺千江子 四日市
石川恒儀 柿田
石川朋江 柿田
渡井富重 川上
渡井ヨシ子 川上
島田民一 本郷
山根茂文 本郷
山根辰夫 本郷
原田藤江 上飯谷
下垣忠雄 下飯谷
高村スミコ 下飯谷
和田美代子 下飯谷
高村公子 弓久
窪田貞子 弓久

(敬称略)

大代町の人口・世帯数8/1現在状況

人口	世帯数	高齢化率
580人	242戸	48.28%
266人		39.10%
314人		56.05%

勇壮な高山神楽舞で

旧交を深めた都市交流会

大代高山会会長 横手新治郎



「梅雨前線が復活したのか、もう秋雨前線なのか、日本列島をすっぽりと雨雲が覆っている。14日の最高気温は各地で平年を数度以上も下回った。」と新聞で報道されたとおり、今年の天気は異常で、都市交流会はどうなるのかと心配しましたが、15日は好天に恵まれ終日和やかな中で交流が行われました。

今年の交流会のメインは、郷土大田市をもっと良く知り、理解を深めて誇りを持つようと、昨年整備を終え、名所となったばかりの三瓶埋没林公園と、世界遺産本登録を目指している大森銀山の名所のひとつ、龍源寺間歩の観覧を計画しました。

三瓶埋没林公園は、島根県が全体で14億円をかけて整備し、地下に眠ったままの埋没林が展示されており、約三

千四百年前の大木に触れて長生きを誓いました。

ふるさとの遺産 三瓶埋没林と銀山間歩を訪ねて

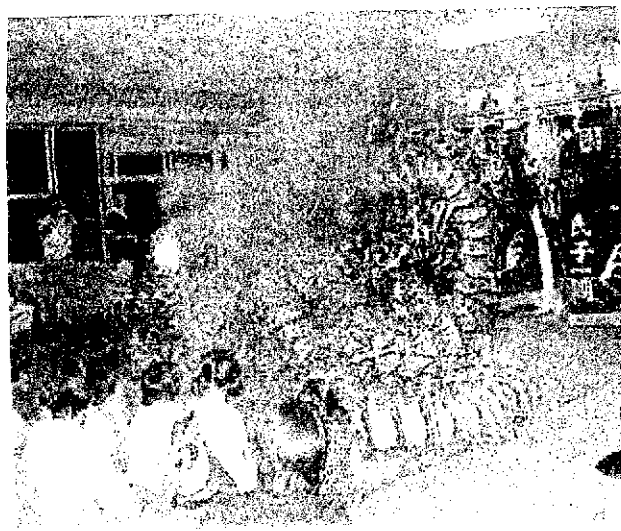
又、代官所直営の間歩「五か山」の内、大久保間歩に次いでの大坑道の龍源寺間歩を歩きながら、当時の坑内の様子を目の当たりに見るこゝとが出来ました。暑い夏に入ると冷やりとし、外に出れば暑さが体に堪えるのですが、今日の天気では内も外も心地よく通り抜けられました。



世界遺産登録が実現したあかつき

は、大江高山もいくらかの恩恵が受けられればと期待もしました。約四時間かけての観覧を終え、昼過ぎ公民館に帰り、閉会式となりました。

冷房設備のない会場での交流でしたが、雨上がりの後の大江高山からの心地よい風のおかげと、ふるさと活性化事業で購入したカラオケ設備を利用したの「のど自慢」で、交流会は盛り上がりました。



大代の伝統芸能「高山神楽」を、一目でも見たいとの帰省された方の声は、神楽団の心を動かし、特に、若い団員の皆さんが盛り上がって見せてくれた

アラヨーオイセー ヨイヤサノサ

「おろち」は、交流会行事を一層意義ある会にしてくれました。



最後は、夜の盆踊り大会。去年の踊り子の少ない寂しさを何とかしようとの思いは、町民の老若男女に伝わり、郵便局から頂いた「盆踊りスタツフのうちわ」を持った踊り子は、初めから終わりまでリードし、大きな輪となり、元気のよい盆踊りとなりました。

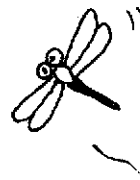
来年は、東京石見高山会、再来年は大代高山会がそれぞれ20回という大きな節目を迎えます。記念すべき交流会に向けて、着実に一歩進んだ今年の交流会となりました。

お疲れのなかご参加頂いた帰省者の皆さん、そして事前の企画、準備等を

受持っていたいただいた自治会・婦人会・公民館・社協・体協等、町民あげての取組みで、盛会のうちに終了できましたことを厚くお礼申し上げます。

田舎と都会

久利町 木村幸市



私は大阪生まれの大阪育ちですが、私は、大学の四年間は福岡で通し、大阪に本社がある製造業の会社に勤めました。その後、滋賀、香川と転勤し、月に半分は出張で、茨城、東京、高知、海外ではドイツ、スイス、オーストラリアと広い範囲で行動していました。そして、最後の定住地ここ島根県大田市にやって来たのが三年前です。様々な土地を踏んできた私ですが、私なりに「田舎」と「都会」の違いを書きたいと思います。

まずは「都会」。

鉄道も道路も完備され、店舗も多く、レジャー施設も沢山あり、人口も多く、

生まれ育ったふるさとに自信と誇りを

とてもにぎやかです。しかし、空気は汚染され、自然も少ない。隣に住んでいる人の顔や名前すら分からない事もあります。

次に「田舎」。

交通の便が悪く、店舗数も人口も少ない。でも、空気はおいしく、緑も沢山。隣近所との交流もあり、人情味にあふれています。

大田市にIターンをして私に皆さんが「何で大田をえらんだの？何にも無い所でしよう？」と不思議そうに言われます。日本海に三瓶山、石見銀山。海水浴場にスキー場。海の幸に山の幸。まだまだ自慢できる良い所は沢山あります。皆さん、自分の生まれ育った故郷の良い所をもう一度見つめ直して自信を持って自慢して下さい。

私はここ大田市で、皆様のご協力を得て農業を頑張る、自然の中で子供達をのびのびと育てていける事ができ、とても幸せだと思っています。そして、子供達が大人になり、都会へ出るような事があっても、胸を張って故郷を自慢できるような子になってほしいと願

っています。
(※この記事は文化協会会報より転載したものです)



この季節、 ギフチヨウたちは？

鳥根県立三瀬自然館

学芸員 井上 雅仁

今年の春も、優雅な舞い姿を見せてくれたギフチヨウたち。その華麗さは、

「春の女神」と称されることから想像できることでしょう。枯れ色の林の中で飛び交う様子は、春の訪れだけでなく、生命の息吹すら感じることのできる瞬間ではないでしょうか。

では、この時期、ギフチヨウたちは一体どうしているのでしょうか？

生きものが生まれ、成長し、子孫を残し、死亡するまでの過程を「生活史」

といいます。ギフチヨウたちがどのような一生を送るのか、簡単にその生活史を追いかけてみましょう。

4月の大江高山登山のころ、成虫の姿を目にすることが出来ます。スマシ、ツツジなどの花の蜜を求め、舞っている時期です。

この頃、成虫たちは、次の世代へと命をつなぐため、交尾をおこないます。その後、メスは食草となる植物の葉の裏に、10個前後の卵からなる塊を産みつけます。この食草がカンアオイの仲間です。

一匹のメスは、200個前後の卵を産みます。卵からかえった幼虫たちはこの葉を食べ、合計で4回の脱皮を繰り返しながら成長していきます。

5月下旬から6月頃になると、カンアオイの仲間の葉を離れ、近くの地表部で蛹(さなぎ)になります。蛹のままで夏、秋を過ごし、さらに冬も越します。

厳しい冬を乗り越えた蛹たちは、次の春、ヤマザクラの花が咲く頃になると、羽化して成虫となり、ふたたび美しい姿をみせてくれます。

どうやらこの時期は、蛹の状態であるべき春を待っているようですね。

虹

継続は力なり

感激・感動・感謝の心

関西高山会副会長 中本 弘

私の好きな言葉の一つに「継続は力なり」がある。長期・短期のことがあっても、一つのことを続けることは大切であると思う。その反対の「三日坊主」はだめではなからうか。私は多くの方がなぜ三日でやめてしまうのだろうかと考えたことがある。これは、あくまでも持論である。人間なにか始めようとすると三日(三回)目くらいになると心の面・体の面・技術の面に障害・障害が生じてくる。なかでも心の面が強く出てくる。

例えば、私の例を述べるとしよう。自宅から最寄りの駅まで徒歩で約三キロ・時間で約三十分である。

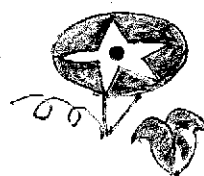
一週間の勤務が三日間のために朝、歩くことを習慣としている。習慣づけするまでが大変である。何故ならば、三日目くらいになると雨が降る、寒い、暑い、気持ちが悪くない等次々やめる理由が出てくる。結局やめてしまうのである。良いことは分かっているが実行しないことになる。私は知っていることと実行することは別であると考えている。しかし、しんどい、苦しい、なんどか涙が出そうなことを歯をくいしばって一生懸命やりとげた時に、感激・感動・感謝が湧いてくると思う。さて、私は平成十年三月に退職して以来、次の三点を継続してやっている。健康管理の一つである体を鍛えることである。毎週一回の割合でフィットネスクラブに通っている。フィットネスクラブとは、器具、エアロビクス、プール等の運動で体の脂肪を取り、その人に適応したバランスよい体を作ることである。

退職時九十キロあった体重も腹回りがすっきりして七七キロになり、体の動きも軽く感じるようになった。それ以外にもダンベル体操、歩くこと、毎朝のテレビ体操もしている。ただここで申し上げたいのは、一朝一夕で減量できないことである。約十キロ以上減量するためには五年かかったことである。二つには、自宅の近所の方や地域の人々と仲良くするためにカラオケを練習したり、発表会もしている。ある新聞に「プロの歌手のマネをする必要はない。人はそれぞれ生きてきた道があり、その生き様を語感に反映する。一人ひとりが自分のイメージを大切にすると書かれていた。私は思う。現職を去ればただの人である。人に可愛がられることが大切である。これを基本にしている。三つ目に、両親の墓は徒歩で片道五十分かかるが、登り、下りの道である。毎月一回以上、一人で墓参りをしている。墓に行き、花瓶の水をかえるだけであるが習慣になってきた。墓に参るとなんとなく力がわいてくる感じである。ふるさと大代から墓を移転して五年になる。両親よりも一日でも長く生きることが親に対する恩返しと考

最後に、継続は力なりの見本として「ひろば大代」・「婦人会だより」があります。私はとりわけ「あすなる句会」が好きです。それは自分の心を歌に託し心情を吐露されるからであり、生き生きとした輝きがあります。すばらしい力を与えてくれると感謝している一人であることを申し上げます。ありがとうございます。

俳句

あすなる句会



大田市 原田万里
白桃の味しみじみと人恋ふる

旅の宿木組現に蟬時雨

下市 渡 あやこ

孫が画く桃一ぱいにはみ出せり
地獄絵図此の世のものと原爆忌

柿田 横手イチエ

食も衣も豊かとなりて原爆忌
ひぐらしの声に起され里に住む

八反田 森 信子

指のあと残して桃を分ちあふ
遠来の友とくつろぐ夏休み

椿 花田時子

白靴をはいてでかける朝かな

若くして兄は逝きたり原爆忌

下市 今田文子

燕の子二組巢立ち空を舞ふ

原爆忌父の復員想ひ出し

川上 岩田律枝

蝸や郷愁をそそる里の秋

緑蔭にひと休みする老夫婦

本郷 和田喜和子

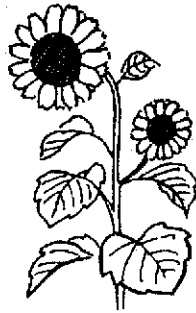
四姉妹揃って里の盆用意

訪れる海辺の孫に送る桃

椿 柿丸寿枝

旗立てて桃売る声や俄か店

冷夏なり祭のみくじ凶とあり



* 9月行事予定 *

▼ 7日(日) 施設訪問

▼ 15日(月) 敬老会 午前十時半から

大代小学校体育館にて

▼ 19日(金) さくららんぼ教室

▼ 21日(日) 福祉弁当

▼ 23日(金) 連合自治会

▼ 28日(日) 町民運動会

お 知 ら せ

公民館より

○高速インターネット

の無料体験のお知らせ

公民館では島根県情報化センターの協力により、9月12日～9月30日までの間、高速インターネット(ADSL)が無料で体験出来ます。皆さん是非この機会にご利用ください。

○パソコン初級者

講習会のお知らせ

公民館では初級者の方を対象にIT講習会を次の日程で開催いたします。参加費無料です。先着10名

◎日時 9月4日～5日

午後7時～午後10時

場所 大代小学校屋体

ミーティングルーム

申し込み締切り9月1日(月)

公民館までお早めに

お礼

◎大代高山会より

都市交流会においてご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

東京石見高山会様 関西高山会様

米原光義様 楠 義見様

田中憲経様 今田 潔様

松本健一様 長谷 満様

中本 弘様 宇井好恵様

米倉典子様 窪田 忠様

◎大代地区社協より

四日市 竹本 護 様

香典返しにかえ金一封のご厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。

